

情報公開文書

【研究課題名】

入院の遅れが COVID-19 感染症の予後に及ぼす影響

1. 研究の目的

一般に感染症の治療は早期に開始することが望ましいですが、COVID-19 感染症のパンデミック期にあっては、感染が判明して入院観察が必要であってもなかなか入院に至らないケースがありました。また、患者さんご自身の事情や意向で速やかな入院が実現できないケースもありました。本研究では、発症から入院までの期間の延長が COVID-19 感染症の予後にいかなる影響があったかを、当院で治療した患者さんの後方視的な診療データをもとに解析します。その結果は、今後の感染医療対策を考える上での基礎的な資料となる可能性があります。

2. 研究の方法

●対象となる患者さん

2020年7月21日ー2021年2月16日に宇多野病院新型コロナ専門病棟を退院した患者さん

●研究期間

宇多野病院生命倫理委員会の承認日(2022年2月初回申請)から開始し、2023年3月末に終了

●研究に用いる診療情報の種類

性別、年齢、入院日、退院日、合併症の有無、治療内容、転帰(軽快・転院)、血液検査結果などの情報を診療録から抽出します。

3. 診療情報の管理

上記情報は、当院のみで利用します。他施設に移譲することはありません。

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

宇多野病院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名、住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っております。

4. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 大江田 知子

所属 臨床研究部・神経内科

職名 臨床研究部長

連絡先 宇多野病院（代）075-461-5121